

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



**2021.10.18-24**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

- 9:1 ヨブは答えて言った。
- 9:2 まことに、そのとおりでであることを私は知っている。しかし、どうして人は自分の正しさを神に訴えることができるのか。
- 9:3 たとい神と言い争おうと思っても、千に一つも答えられまい。
- 9:4 神は心に知恵のある方、力の強い方。神に身をこわくして、だれがそのまま済むだろうか。
- 9:5 神が山々を移されるが、だれもこれに気づかない。神は怒ってこれをくつがえされる。
- 9:6 神が地をその基から震わすと、その柱は揺れ動く。
- 9:7 神が太陽に命じると、それは上らない。星もまた封じ込められる。
- 9:8 神はただひとりで天を張り延ばし、海の大波を踏まれる。
- 9:9 神は牡牛座、オリオン座、すばる座、それに、南の天の室を造られた。
- 9:10 神は大いなることを行なって測り知れず、その奇しいみわざは数えきれない。
- 9:11 たとい神が私のそばを通り過ぎて、私には見えない。神が進んで行って、私は認めることができない。
- 9:12 ああ、神が奪い取ろうとすると、だれがそれを引き止めることができるのか。だれが神に向かって、「何をされるのか。」と言えよう。
- 9:13 神は怒りを翻さない。

- ラハブを助ける者たちは、みもとに身をかがめる。
- 9:14 いったい、この私が神に答えられようか。私が神とことばを交せようか。
- 9:15 たとい、私が正しくても、神に答えることはできない。私をさばく方にあわれみを請うだけだ。
- 9:16 たとい、私が呼び、私に答えてくださったとしても、神が私の声に耳を傾けられたとは、信じられない。
- 9:17 神はあらしをもって私を打ち砕き、理由もないのに、私の傷を増し加え、
- 9:18 私に息もつかせず、私を苦しみで満たしておられる。
- 9:19 もし、力について言えば、見よ、神は力強い。もし、さばきについて言えば、だれが私を呼び出すことができるか。
- 9:20 たとい私が正しくても、私自身の口が私を罪ある者とし、たとい私が潔白でも、神は私を曲がった者とされる。

ヨブはビルダデに同意します。神は絶対者で、人間が訴えることも言い争うことも、また妨げることもできません。私たちが「神には逆らえず、私は愛されていない」と感じてしまうことがあるかもしれません。ヨブは的を射たことを言っています。

しかし、ヨブにはまだ二つのことに気づくべきでした。ひとつは「正しい」というのは、あくまでも人と比べてのことであって神の絶対の前には誰もが罪人であるということです。神は心をごらんになるからです。もうひとつは”神は赦すお方

である”ということです。ただ神の正しさの前に恐れおののいて諦めるではありません。あわれみに頼ることができるのです。神様の恵は、その義の大ききよりも勝るのです。恵みの源である十字架に、ただ感謝しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 9:21 私は潔白だ。  
しかし、私には自分自身がわからない。  
私は自分のいのちをいとう。
- 9:22 みな同じことだ。だから私は言う。  
神は、潔白な者をも悪者をも  
共に絶ち滅ぼされる。
- 9:23 にわか水が突然出て人を殺すと、  
神は罪のない者の受ける試練をあざける。
- 9:24 地は悪者の手にゆだねられ、  
神はそのさばきつかさらの顔をおおう。  
もし、神がそうするのでなければ、  
そうするのはだれか。
- 9:25 私の日々は飛脚よりも速い。  
それは飛び去って、しあわせを見ない。
- 9:26 それは葦の舟のように通り過ぎ、  
獲物に襲いかかるわしのように  
通り過ぎる。
- 9:27 たとい「不平を忘れ、  
憂うつな顔を捨てて、  
明るくなりたい。」と私が言っても、
- 9:28 私の受けたすべての苦痛を思うと、  
私はおびえます。  
私は知っています。  
あなたは、私を罪のない者とは  
してくだされません。
- 9:29 私はきつと、罪ある者とされましょう。  
ではなぜ、私はいたずらに  
労するのでしょうか。
- 9:30 たとい私が雪の水で身を洗っても、  
灰汁で私の手をきよめても、
- 9:31 あなたは私を墓の穴に突き落とし、  
私の着物は私を忌みきらいます。

- 9:32 神は私のように人間ではないから、  
私は「さあ、さばきの座に  
いっしょに行こう。」  
と申し入れることはできない。
- 9:33 私たちふたりの上に  
手を置く仲裁者が  
私たちの間にはいない。
- 9:34 神がその杖を私から  
取り去られるように。  
その恐ろしさで私を  
おびえさせないように。
- 9:35 そうすれば、私は語りかけ、  
神を恐れまい。  
いま私はそうではないからだ。

人として正しく、またクリスチャンとして精一杯生きて来たのに、自分だけ苦しい目にあっていると思うときもあります。「水」や「地」の災害のように「潔白な者を絶ち滅ぼす神」と感じてしまうでしょう。

ヨブはそんなときでも神にことば（信頼ではないですが）を向けています（27～）。さらには仲裁者がいないと嘆きます。

しかし仲裁者はイエス様です。滅ぼされたようでも、十字架によって永遠のいのちが与えられます。ヨブへの答えは、人間の理屈を満たすようなものではありません。その答えは十字架のイエス様なのです。

どんな問題でも十字架に表されたイエス様の愛、そして十字架によって勝利した神様の愛の力によって解決されるのです。そのことに期待し続けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 10:1 私は自分のいのちをいう。  
私は自分の不平をぶちまけ、  
私のたましいの苦しみを語ろう。
- 10:2 私は神に言おう。  
「私を罪ある者となさらないように。  
なぜ私と争われるかを、  
知らせてください。
- 10:3 あなたが人をしいたげ、  
御手のわざをさげすみ、  
悪者のはかりごとに光を添えることは  
良いことでしょうか。
- 10:4 あなたは  
肉の目を持っておられるのですか。  
あるいは、人間が見るように、  
あなたも見られるのですか。
- 10:5 あなたの日々は  
人間の日々と同じですか。  
あるいは、あなたの年は  
人の年と同じですか。
- 10:6 それで、あなたは私の咎を捜し、  
私の罪を探られるのですか。
- 10:7 あなたは、私に  
罪のないことを知っておられ、  
だれもあなたの手から  
救い出せる者はいないのに。
- 10:8 あなたの御手は私を形造り、  
造られました。  
それなのにあなたは私を  
滅ぼそうとされます。
- 10:9 思い出してください。  
あなたは私を粘土で造られました。  
あなたは、私をちりに  
帰そうとされるのですか。
- 10:10 あなたは私を乳のように注ぎ出し、

- チーズのように固め、  
10:11 皮と肉とを私に着せ、  
骨と筋とで私を  
編まれたではありませんか。
- 10:12 あなたはいのちと恵みとを私に与え、  
私を顧みて私の霊を守られました。

ヨブは自分には非がないと言いますが、それは人間を超えた存在であることを主張することです。でありながら、神に対しては「肉の目を持って」といって、人間レベルの存在であるかのように言い張ります。自分の正しさを主張すると、神を間違った者としてしまい、迷路に入りこむのです。

その後ヨブは、神の創造の愛を述べて、そのような愛があるはずなのにと訴えます。それは確かなことであり、私たちが立ち返るべき基本です。さらに神様は十字架で永遠ののちを与えてくださいました。

私たちは、苦しみの中で自分の正しさを主張しがちです。しかし主の愛にすがるのが、回復への道なのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 21日 木曜

### ヨブ記



- 10:13 しかし、あなたはこれらのことを御心に秘めておられました。私はこのことがあなたのうちにあるのを知っています。
- 10:14 もし、私が罪を犯すと、あなたは私を待ちもうけておられ、私の咎を見のがされません。
- 10:15 もし、私が罪ある者とされるのなら、ああ、悲しいことです。私は、正しくても、私の頭をもたげることはできません。自分の恥に飽き飽きし、私の悩みを見えていますから。
- 10:16 私の頭が上がると、あなたはたける獅子のように、私を駆り立て、再び私に驚くべき力をふるわれるでしょう。
- 10:17 あなたは私の前にあなたの新しい証人たちを立て、私に向かってあなたの怒りを増し、私をいよいよ苦しめられるでしょう。
- 10:18 なぜ、あなたは私を母の胎から出されたのですか。私が息絶えていたら、だれにも見られなかったでしょうに。
- 10:19 私が生まれて来なかったかのように、母の胎から墓に運び去られていたらよかったものを。
- 10:20 私の生きる日はいくばくもないのですか。それではやめてください。私にかまわないでください。

- 私はわずかでも明るくなりたいのです。
- 10:21 私が、再び帰らぬところ、やみと死の陰の地に行く前に。
- 10:22 そこは暗やみのように真暗な地、死の陰があり、秩序がなく、光も暗やみのようです。」

ヨブ記も他の旧約聖書と同じように、解釈が難しい書です。それは福音がまだないからです。ですから「もしも十字架のイエス様だったら、ヨブに何と言われるだろうか」と想像するのが良いでしょう。

ヨブは「咎を見のがされません」と言い、神様が恐ろしい存在であるように感じます。またさらに「私が息絶えていたら」「かまわないでください」と言い、神様との関係を絶ちたいとさえ思っています。

しかしイエス様はそのような人のためにこそ十字架ですべてを負ってくださったのです。神を恐れるとき、神様から離れようとするのではなく、十字架のゆえにイエス様により近づきましょう。それこそが、逃れの道であり、安心であり、神様の恐れから解放される道です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 11:1 ナアマ人ツォファルが答えて言った。  
 11:2 ことば数が多ければ、  
 言い返しが無いであろうか。  
 舌の人が義とされるのだろうか。  
 11:3 あなたのおしゃべりは人を黙らせる。  
 あなたはあざけるが、  
 だれもあなたを恥じさせる者が無い。  
 11:4 あなたは言う。  
 「私の主張は純粋だ。  
 あなたの目にも、きよい。」と。  
 11:5 ああ、神がもし語りかけ、  
 あなたに向かって  
 くちびるを開いてくださったなら、  
 11:6 神は知恵の奥義をあなたに告げ、  
 すぐれた知性を借にしてくださるものを。  
 知れ。神はあなたのために、  
 あなたの罪を忘れてくださることを。
- 11:7 あなたは神の深さを  
 見抜くことができようか。  
 全能者の極限を  
 見つけることができようか。  
 11:8 それは天よりも高い。  
 あなたに何ができよう。  
 それはよみよりも深い。  
 あなたが何を知りえよう。  
 11:9 それを計れば、地よりも長く、  
 海よりも広い。

ヨブの惨状を見て泣いた友人たちでしたが、議論になるにつれ、ヨブを非難するようになります。エリファズは自分の信仰経験から、ビルダデは伝統から、そしてツォファルは論理から主張して非難します。

な罪人ですからツォファルが正しいのですが、ツォファルはその動機がずれています。自分の正しさを主張するためだからです。

罪の結果は何でしょうか。それは刈り取りの原理から言うと、すなわち因果応報の原理から言うとさばきであり滅びです。しかし神様の恵みの原理は、因果応報の刈り取りではなく、むしろ憐れみによる救いです。いやしであり、回復です。

また神は「罪を忘れて（原語の意味は「あなたの罪よりも軽く罰しておられる」）」くださるのですが、ならば文字通り赦しておられるはずですが、ツァアフォルが意味するように、「あなたの罰よりもあなたの方が重い」というように非難するためのものではありません。

イエス様の思いとイエス様の真理を動機にしましょう。また人から責められるとき、その声よりもイエス様の声を聞きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 11:10 もし、神が通り過ぎ、  
あるいは閉じ込め、  
あるいは呼び集めるなら、  
だれがそれを引き止めようか。
- 11:11 神は不真実な者どもを  
知っておられる。  
神はその悪意を見て、  
これに気がつかないであろうか。
- 11:12 無知な人間も賢くなり、  
野ろばの子も、人として生まれる。
- 11:13 もし、あなたが心を定め、  
あなたの手を神に向かつて  
差し伸べるなら、
- 11:14 ——あなたの手に悪があれば、  
それを捨て、  
あなたの天幕に  
不正を住まわせるな。——
- 11:15 そうすれば、あなたは必ず、  
汚れのないあなたの顔を  
上げることができ、  
堅く立って恐れることがない。
- 11:16 こうしてあなたは労苦を忘れ、  
流れ去った水のように、  
これを思い出そう。
- 11:17 あなたの一生は真昼よりも輝き、  
暗くても、それは朝のようになる。
- 11:18 望みがあるので、あなたは安らぎ、  
あなたは守られて、安らかに休む。
- 11:19 あなたが横たわっても、  
だれもあなたを脅かさない。  
多くの者があなたの好意を求める。
- 11:20 しかし悪者どもの目は衰え果て、  
彼らは逃げ場を失う。  
彼らの望みは、あえぐ息に等しい。

ヨブも人間ですから、欠点もあり罪もあります。ですからツォファルが言うのも正しいのですが、私たちは「兄弟の目の中の中りには気づくが、自分には梁がある」というイエス様のことばを思い出すでしょう。

もしも病などで悩んでいる兄弟姉妹に声をかけるなら、イエス様がその人に何とっておられるかに気づかなければなりません。

しかしながらもしも自分が苦しんでいて、近くにツォファルのように言ってくるクリスチャンがいたとしたら、そのときは謙遜になって聞き、その上で愛の主からのメッセージを待ち望めば良いでしょう。人からのことば傷つけられないように、イエス様の愛のことばを聞きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



- 12:1 そこでヨブが答えて言った。  
12:2 確かにあなたがたは人だ。  
あなたがたが死ぬと、知恵も共に死ぬ。  
12:3 私にも、あなたがたと同様に、悟りがある。  
私はあなたがたに劣らない。  
だれかこれくらいのことを知らない者があろうか。  
12:4 私は、神を呼び、  
神が答えてくださった者であるのに、  
私は自分の友の物笑いとなっている。  
潔白で正しい者が物笑いとなっている。  
12:5 安らかだと思っている者は  
衰えている者をさげすみ、  
足のよろめく者を押し倒す。  
12:6 荒らす者の天幕は栄え、  
神を怒らせる者は安らかである。  
神がご自分の手でそうさせる者は。  
  
12:7 しかし、獣に尋ねてみよ。  
それがあなたに教えるだろう。  
空の鳥に尋ねてみよ。  
それがあなたに告げるだろう。  
12:8 あるいは地に話しかけよ。  
それがあなたに教えるだろう。  
海の魚もあなたに語るだろう。  
12:9 これらすべてのもののうち、  
主の御手がこれをなされたことを、  
知らないものがあろうか。  
12:10 すべての生き物のいのちと、  
すべての人間の息とは、その御手のうち  
にある。  
12:11 口が食物の味を知るように、  
耳はことばを聞き分けないだろうか。

12:12 老いた者に知恵があり、  
年のたけた者に英知があるのか。

「これくらいのことを知らない者があろうか」と、ヨブは主張しています。神に関する知識、御心の真理は共通に分かっているのです。ただ、友人たちはそれを他の人（ヨブ）に適用し、非難します。そしてヨブはそれは不当であると自己防衛しています。

非難のためにみことばを用いることは、大きな傷となります。みことばは神の御心とともに用いるものであって、人を慰め励まして建てあげるためです。

ヨブは必死に自然界が創造主を証しすることに解決を見出そうとします。これが後に自分の悟り（神との関係回復）になって行きます。もがくことは重労働ですが、主の前に祈りつつ、主に心をむけてのがきであるなら、決して無駄になることはありません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

